

第97回 大阪地方メーデー

誰もが安心して働くことのできる社会を

大阪地方本部は、5月1日(金)大阪城公園・太陽の広場(野球場内)に於いて、連合大阪主催第97回大阪地方メーデーに参加した。会場には曇天のなか、構成組織から約1万人が集結し「対話と連帯で笑顔あふれる未来を」をスローガンに労働者の処遇改善などを訴えた。



大阪地方メーデー井尻実行委員長の挨拶
(連合大阪会長)

井尻実行委員長(連合大阪会長)からは、「ジェンダー平等の推進では、連合大阪は様々な団体と緊密に連携し、企業や団体の好事例

を横展開で通じ、誰もが排



参加した約1万人によるガンパロー三唱!

除されることなく安心して働ける環境づくりを進める」との挨拶があった。アピールでは、●大規模災害への備えと能登半島

地震の今●外国人労働者が直面する備えと能登半島地震の今について、主張を行った。

大阪地方本部

2025年度 出向組合員激励会

大阪地本は、5月19日



大阪地本を代表し挨拶をする
禅野執行委員長

最後は、井尻実行委員長(連合大阪会長)の「團結ガンパロー」の発声で、参加者全員が元気に拳を上げ、大阪地方メーデーを締め括った。今年も労働者の力強さを感じさせる集会となった。

だきたいと意見があった。出向組合員の世話役活動は、各支部・分会で機関紙の郵送などは行っているものの、長期出向者と各級機関役員との面識がなくなっていることや、出向者の出向先での転勤を把握することが難しいことなどから、世話役活動が不十分となっている。

(火)、ホテルグランヴィア大阪に於いて、出向組合員10名を迎え、出向組合員激励会を実施した。大阪地方本部を代表し、禅野執行委員長が「各出向先より、JR西日本を支えていただき、我々JR

西労組の運動にもご理解、ご協力いただいていることに感謝を申し上げます」と挨拶を行った。出向組合員からは、お一人お一人の近況を含めた挨拶をいただき、引き続きこのような場を大事にしたい

今後大阪地本では、出向組合員に対する世話役活動を重点課題と位置づけ、取り組みの強化を図ると共に、出向組合員の定期面談の確実な実施や、情報提供の充実などを会社にて要請していく。

JR西労組中央本部主催

事故を決して忘れず、安全を誓う集い

JR西労組中央本部は、4月25日(土)、TKPガーデンホテルにおいて、JR西日本連合グループ単組代表者を含めた約270名が集まり、

そして、関西電力株式会社 社人財・安全推進室 安全

推進グループマネジャー江口智也氏より、「関西電力グループにおける安全文化構築・継承のための安全活動について」と題し

「2026年事故を決して忘れず、安全を誓う集い」を開催した。中央本部執行部を代表して羽野中央執行委員長より、●福知山線列車事故●追悼慰霊式●車両保存施設●凡事徹底●リスクについて



主催者を代表し挨拶する
羽野中央執行委員長



関西電力株人財・安全推進室
安全推進グループマネジャー江口智也氏

私たちは、一人ひとりが安全の担い手であるという自覚を持ち、自らの安全行動を確実に実践する事、また協力会社等との双方のコミュニケーションを大切にし、



安全の取り組みについて報告する
中央本部中村業務部長

PDCAによる継続的な改善や教育情報共有を通じて安全文化を高め、災害ゼロの実現を目指して取り組む姿勢を学ぶことができた。

「安全お守り手帳」を活用した職場点検を進め、チェック・提言機能に磨きをかけ、働く者の立場から問題提起を行うことの重要性を再認識した。最後に、参加者全員で、「すべてのJR西労組、JR西日本連合組合員の参画によって、妥協なく安全を追求し、労働組合のチェック・提言機能を発揮すべく、着実に運動を推進していく」ことを集会アピールで誓い合い、集いを締めくくった。

故後の取り組み概況や安全に関するアンケートの比較について報告があった。あらためて、



出向組合員の皆さんにとって今後の勤務の励みとなる激励会となった